

第2日 1月25日(土) 午後の部

(11) 情報教育部会		部会テーマ	情報教育最新事情	
内 容	令和2年度から小学校でプログラミング教育が全面実施されたり、ゲーム依存がWHOで新たな疾病として認定されたりするなど、情報教育の着実な推進の必要性は日々高まっている。本部会では、プログラミング教育の実践発表から、具体的な準備、指導方法等について考えるとともに、情報モラルの育成に関するアンケート結果から児童生徒の実態について理解を深めることにより、情報教育の更なる充実を目指す。			
指導助言者	宇都宮大学教育学部	川島 芳昭	司 会 者	佐野市教育センター 木村 佳弘
記 録 係	総合教育センター	佐山新太郎	企画・会場係	総合教育センター 浦田 英亮

実践発表 1

教科教育における Scratch を用いた効果的な

プログラミング教育の推進

～学年の系統性意識した実践を通して～

佐野市立出流原小学校 峰崎 武昭
// 大川 洋平

プログラミング教育の円滑な実施に向け、市教委と連携して推進している取組（教職員研修、ICT環境整備、授業実践、カリキュラム・マネジメントなど）から見えてきた、成果や課題について発表する。

実践発表 2

プログラミングを活用した授業研究

～学習活動の充実を目指すプログラミング体験の在り方～

足利市立教育研究所 真下 典久

プログラミング教育の実施を円滑に行うため、小学校の教諭4名を研究員に委嘱した。1年次には、各教科のねらいを達成するために有効なプログラミングを活用した授業の実践を行った。2年次は総合的な学習の時間において授業実践を行った。その一端について発表する。

実践発表 3

県内の情報モラルに関するアンケート調査結果について

～集計結果から見えてきたこと～

総合教育センター研究調査部 糀谷 隆雄

県内の小・中・高及び特別支援学校の合計42校に情報モラルに関するアンケートを行った。その集計結果から、県内の情報モラルに関する実態を報告する。